

授業概要

英米文学を中心とした英語圏文学から毎回、有名な作品を1、2作取り上げ、作家と作品、ストーリーや登場人物を紹介するとともに、その映画化作品の名場面を鑑賞したり、原作の名場面を翻訳で読みだりして、英語圏文学の楽しさを学んでもらう。内容は小説、演劇、ジャンルは文学からミステリーやファンタジーなどのエンターテインメントまで、さまざまな作品を取り上げる。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	映画から学ぶアーサー王伝説
第3回	シェイクスピアの悲劇（「ロミオとジュリエット」、「ハムレット」など）
第4回	シェイクスピアの喜劇（「十二夜」、「夏の夜の夢」など）
第5回	イギリス小説Ⅰ（ヴィクトリア朝以前）
第6回	イギリス小説Ⅱ（ヴィクトリア朝前期）
第7回	イギリス小説Ⅲ（ヴィクトリア朝後期）
第8回	イギリス小説Ⅳ（20世紀から現代まで）
第9回	アメリカ小説Ⅰ（19世紀から20世紀初頭）
第10回	アメリカ小説Ⅱ（20世紀から現代まで）
第11回	現代演劇とミュージカルⅠ
第12回	現代演劇とミュージカルⅡ
第13回	ミステリーの世界
第14回	SFの世界
第15回	ファンタジーの世界
第16回	期末試験

到達目標

英語圏文学の流れや特徴を知る。
取り上げた作品の内容やテーマを理解する。

履修上の注意及び予習・復習

毎回きちんとノートを取り、それを整理することが予習復習となる。特に、扱った作品についての内容がわかるように、タイトル、作者名、あらすじ、登場人物について、きちんとノートをとること。これを怠ると期末試験に影響する。また、できるだけ、扱った作品を読む、映画化作品を見ることが望ましい。
毎回、小テストを行ない、講義をきちんと聴いているかをチェックする。

評価方法

成績は期末試験と小テストを4対1の割合で評価する。
小テストなどでの授業参加の努力は評価するが、単なる出席は評価の対象としない。

テキスト

特になし。適宜、参考書を紹介する。